

	前川 燿男 練馬区長コメント (ワクチン接種について)
と き	5月14日(金)発表
と ころ	練馬区役所(豊玉北6-12-1)
14日(金)、練馬区におけるワクチン接種予約の開始、および国による大規模接種センターの予約開始に先立ち、前川 燿男(まえかわあきお)練馬区長がコメントを発表いたしました。	

【区長コメント】

- 練馬区は、接種の準備を着実に進めてきた。
「練馬区モデル」の眼目である、個別接種を行う診療所は、練馬区医師会の協力により約350か所となった。
「病院、区立施設での集団接種」とあわせて、高齢者への接種は、当初の計画通り7月中に終わると自信を持っている。
- 来週の月曜日、5月17日から、75歳以上の方の予約を受け付ける。
練馬区は、高齢者を2段階に分け、まず75歳以上の方に接種券を送付した。
5月25日には65歳~74歳の方へ送付し、次いで基礎疾患のある方、一般区民に対象を拡大する。
これは、年齢別・段階別に予約を受けるなど工夫してほしいとの、国からの要請を踏まえての対応である。
区としても、予約殺到などの混乱を避けるために有効な方法と判断した。
- こうしたなか発表された、国の「大規模接種」について、非常に困惑している。
65歳以上を対象に、17日から予約を受け付けるとしているが、練馬区は、先ほど申し上げた通り、現時点で、75歳以上の方にしか接種券を送付していない。
現在、区に対し、接種券が届いていない方から、多くの苦情が寄せられており、17日に向け、更に混乱することは避けられない。
国の要請も踏まえ、対象者を細分化したにもかかわらず、唐突に接種会場を設置すると言われても対応できない。
- 練馬区は、必ず7月中に接種を終える。ぜひ各自治体を信頼してほしい。
まずは、必要量のワクチンを確実に配布してほしい。
あわせて、今後の配布量とスケジュールを明示してほしい。ここがはっきりしないと、先々の予約を進めることが出来ない。
国が頑張っていることはよく承知している。
ぜひ、ワクチンの確保について「見える形」で示し、「急がないと接種できないのでは」という区民の不安を解消してほしい。

【問い合わせ】